

No	64	事務事業評価票		所管部長等名	健康福祉部長 上田 淑哉		
評価対象年度		平成23年度		所管課・係名	国保ねんきん課 医療給付係		
				課長名	小林 真二		
(Plan) 事務事業の計画							
事務事業名	医療費適正化推進事業(ジェネリック医薬品の普及促進、レセプト点検業務委託)			「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	医療費適正化推進事業		
会計区分	国民健康保険特別会計						
予算の事業名	医療費適正化推進事業						
事業コード(大-中-小)	55	—	01	—	34	—	—
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第1章 誰もがいきいきと暮らすまち					
	施策の大綱(節)【政策】	③ 健やかに暮らせるまちづくり					
	施策の展開(項)【施策】	① 保健・福祉・医療の連携強化					
	具体的な施策と内容	(4) 医療保険制度の適切な運営					
根拠法令、要綱等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律						
実施手法 (該当欄を●)	○ 全部直営		● 一部委託		○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)
	○ その他()						○ 義務である ● 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前			終了年度	未定	

(Do) 事務事業の実施									
事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
	内容 (手段、手法等)	<p>八代市国民健康保険被保険者 八代市国民健康保険医療費</p> <p>新薬からジェネリック医薬品への切り替えを促進し、被保険者の医療費負担を軽減するとともに、国保医療費の適正化を図る。 レセプト点検を実施することで、医療機関等に対して適正な診療・請求等を促すとともに、国保医療費の適正化を図る。</p> <p>国民健康保険被保険者証の一斉更新時に、ジェネリック医薬品希望カード付パンフレットを同封して配布する。 医科・調剤レセプト単月点検、歯科レセプト縦覧点検等を民間事業者へ委託し実施する。</p>							
事業開始時点からこれまでの状況変化等	市町村国保財政の厳しさが増し、保険財政の健全化を迫られている現状から、ジェネリック医薬品の普及促進及びレセプト点検の必要性が高まってきている。								
コスト・成果指標の推移									
コスト	総事業費	単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
	事業費(直接経費)	千円	8,737	5,895	7,835	7,835	7,835	7,835	
	財源内訳	国・県支出金	千円	6,637	3,795	5,735	5,735	5,735	5,735
		使用料・手数料	千円	1,906	497	2,648	2,648	2,648	2,648
		市債	千円						
		その他()	千円						
		一般財源	千円	4,731	3,298	3,087	3,087	3,087	3,087
	概算人件費(正規職員)	千円	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	
正規職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
臨時職員等従事者数	人								
成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 被保険者証一斉更新時のジェネリック医薬品普及啓発パンフレット配布部数	パンフレットを配布した被保険者に対しては、啓発効果が上がっていると考えられるため指標として設定した。	部	22,661	22,577	21,920	21,920	21,920	21,920
	② 内容点検効果率	率が高いほど内容点検の効果が上がっていると考えられるため指標として設定した。(内容点検効果率:内容点検により減額した額を、診療報酬の保険者負担総額で除した数字)	%	0.28	集計中 8月中判明				
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 国保被保険者数及び経済状況悪化による所得の減少の一方、高齢化や医療技術の進歩による医療費の増加に伴い、国保財政は年々厳しさを増している現状から、医療費適正化推進の必要性は今後ますます高まり、各保険者が主体となって引き続き取り組むべき事業である。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合して いませんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移 していますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) ジェネリック医薬品普及促進については、これまでの希望カード付パンフレットの配布に加え、被保険者個人へ直接、利用推進を働きかける必要がある。 レセプト点検に関しては、内容点検効果率の目標値も達成しており順調に推移している。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) レセプト点検については専門的な技術・知識を必要とするため、既に民間事業者へ委託をしており、また業務の性質上、他事業との統合・連携は不可能である。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) ジェネリック医薬品の普及促進については、さらなる事業効果の向上を図る必要があるため。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 ジェネリック医薬品の普及促進策として、これまでの希望カード付パンフレットの配布に加え、平成24年度から、新薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合の医療費削減効果を記載した差額通知を、当初予定していた40歳以上から30歳以上へとさらに対象者を拡大して、直接、被保険者に発送することにより、ジェネリック医薬品の利用のさらなる促進を図る。 レセプト点検に関しては、柔道整復施術療養費支給申請書(柔整レセプト)の点検を実施し、当該療養費の適正化への取組を強化し、さらなる医療費適正化を図る。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等) 【平成22年度決算委】ジェネリック医薬品の普及について、被保険者及び医療機関等への啓発活動に今後も取り組んでほしい。
------------------	--